

RYOBI

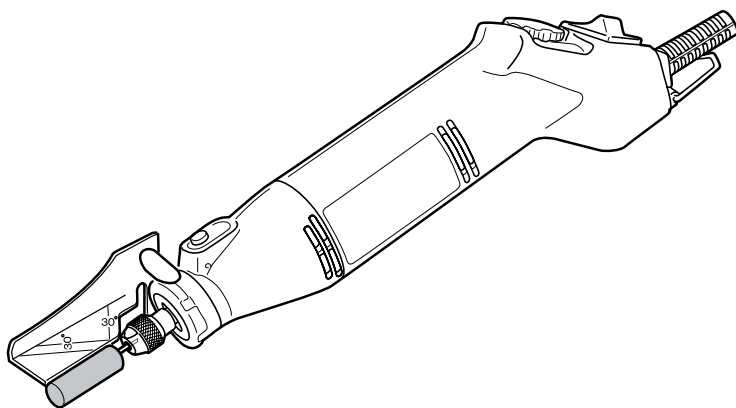
チェンソーシャープナ

CBS-60

取扱説明書


ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～5
- ・各部の名称・仕様・付属品・用途 6
- ・操作方法 7～8
- ・ご使用方法 9～13
- ・保守と点検 14

 二重絶縁

このたびは、リョービチェンソーシャープナをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠警告」、「⚠注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。

⚠ 警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
＜異常・故障例＞
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

チェンソーシャープナご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、チェンソーシャープナをご使用の際は、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねを着用してください。
また、粉じんを吸込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 軸付砥石は純正部品を使用してください。
 - ・異なるものを使用されると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 軸付砥石の軸の曲がったものや、砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・異常があると、軸付砥石が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中、本体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、軸付砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
7. 使用中は、振回されないように本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、起動時のショックなどで本体を取落とし、けがの原因になります。

⚠ 警告

8. 水、研磨液などを使用しないでください。
 - ・ 感電事故のもとになります。
9. 本体を万力などで固定した使い方をしないでください。
10. 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
11. チェンソーの研磨作業をする時は、エンジン式の場合は、エンジンを完全に停止し、電動式の場合は、チェンソーの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 不意な始動によるけがの原因になります。
12. 研磨する刃刃、チェン刃の歯先に十分注意してください。また、刃刃、チェン刃は確実に固定してください。
 - ・ 歯先に不用意に触れたり研磨中に刃物が動いたりするとけがの原因になります。
13. 停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。
 - ・ 停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止した時は、必ずスイッチを切ってください。
 - ・ 電源が回復した時に急に始動し、けがの原因になります。

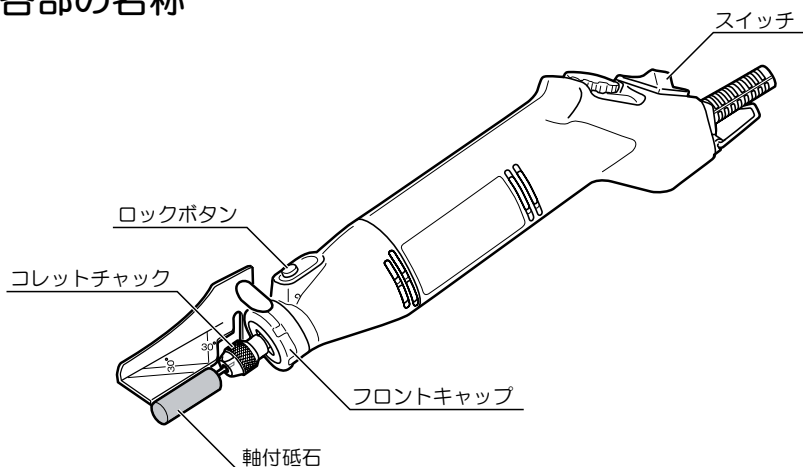
⚠ 注意

1. 軸付砥石や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実にないと、はずれたり、けがの原因になります。
2. 研磨中軸付砥石を無理に押しついたりすると、砥石が破損することがありますので注意してください。
3. 新しい砥石を取付け、初めてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から身体をさけてください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
4. コードを引っ張ったり、引っ掛けたりしないでください。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

🔍 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間を異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

■各部の名称



■仕様

- ・電源 …………… 単相・交流 100 V 50 / 60Hz
- ・定格電流 …………… 0.65 A
- ・消費電力 …………… 60 W
- ・無負荷回転数 …………… 15,000min⁻¹
- ・コード長さ …………… 2m
- ・チャックサイズ (径) …………… 3.0mm
- ・質量 …………… 450g
- ・絶縁方式 …………… 二重絶縁

■付属品

- ・片ロスパナ …………… 1
- ・フロントキャップ …………… 1
- ・フロントキャップ (ガイド付=本体取付) …………… 1
- ・軸付砥石 (砥石径 4mm、8mm) …………… 各1

■用途

- ・チェン刃 (オレゴン 25AP / F、91S / SG / VS / VG / PXタイプ)、
刈刃 (笹刈刃) の研磨
(注) 上記タイプと刃先の大きさの異なるチェン刃および刈払機用のチップソー、丸ノコ刃、
巴刃などには使用できません。
- ・その他、軸付砥石による各種研磨作業

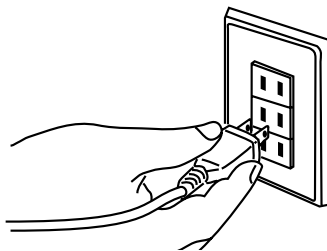
■操作方法

●スイッチの扱い方

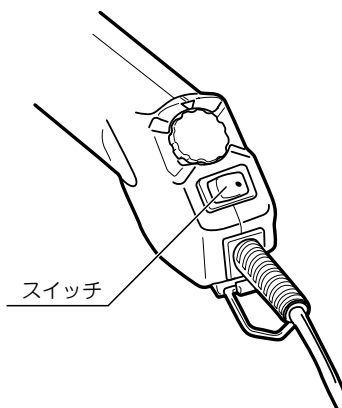
⚠ 警告

- ・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ・使用後や、点検、砥石交換の際はスイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1. 電源プラグを所定の電源コンセントに確実にさし込んで接続します。



2. 電源の接続ができましたらスイッチを操作します。スイッチは、●のついた方を押しと入り（ON）、マークのない方を押しと切る（OFF）となります。

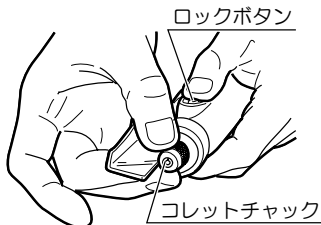


●軸付砥石の取外し、取付け

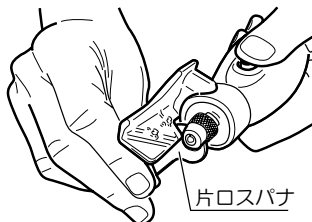
⚠ 注意

- ・ 軸付砥石は純正部品を使用してください。異なるものを使用されると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
- ・ 軸付砥石の取付け、取外しの際はスイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ 作業に入る前には必ず試運転を行なってください。
- ・ 軸付砥石は取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたり、けがの原因になります。スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。また、必ずロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。

1. ロックボタンを軽く押さえながら、コレットチャックを指で回して回転軸が固定される位置を探し、固定します。



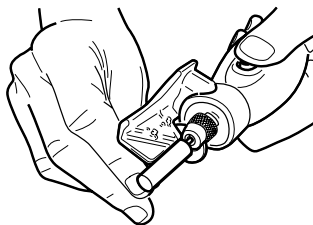
2. そのまま、ロックボタンを押さえた状態で、付属品の片ロスパナでコレットチャックを回してゆるめます。



3. 砥石の軸を、チャックの先から奥に当てるまで入れます。



4. 片ロスパナを使って確実にコレットチャックを締付け、軸を固定します。



5. 取外しは、ロックボタンを押さえ、回転軸を固定し、片ロスパナでコレットチャックをゆるめてから砥石軸を抜いてください。

■ご使用方法

⚠ 警告

- ・ 巻き込み事故防止のため、手袋などの着用は絶対にしないでください。
- ・ 目を保護するため保護めがねを着用してください。また、粉じんを吸込まないようにマスクを着用してください。
- ・ 作業中は、顔を砥石に近づけないでください。けがの原因になります。
- ・ 本体や砥石に衝撃をかけますと砥石にヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱には十分注意してください。
- ・ 研磨する刃、チェーン刃は確実に固定してください。研磨中に刃物が動くとけがの原因になります。
- ・ 水、研磨液などを使用しないでください。感電事故のもとになります。
- ・ 本体を万力などで固定した使い方をしないでください。

⚠ 注意

- ・ 軸付砥石や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたり、けがの原因になります。
- ・ 研磨中軸付砥石を無理に押しつけたりとすると、砥石が破損することがありますので注意してください。
- ・ 新しい砥石を取付け、初めてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から身体をさけてください。砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続する前にスイッチが切れていること、砥石が正しく取付けられていることを確認して、電源プラグを電源コンセントに接続してください。

(注) 作業中に本体が熱くなったときは、一旦作業を中断し冷えてから再開してください。

●チェーン刃の目立て

- (注) チェーン刃は、右刃、左刃とも全部の刃を同一の研磨状態にそろえることが必要です。欠けた刃を目立てしたことによって刃の状態が変わった時は、他の全ての刃を、それに合わせてそろえてください。
デブスゲージの高さも全刃、正確に合わせ調整します。
- (注) 軸付砥石が摩耗した場合には、新しい軸付砥石と交換してください。細くなった軸付砥石(砥石径 3.7 mm以下)をそのまま使用されますと、正しく目立てができません。
- (注) 砥石の特定の部分だけを使って目立て作業をすると、軸付砥石の寿命を短くします。何回かに分け、軽いタッチで目立てします。
強く押しつけたたり、長く接触させ続けないようにしてください。
- (注) 長時間、刃に押しつけたまま研磨を続けると、刃にダメージを与えてしまいます。

1. チェン刃の種類の確認

- 目立てをするチェン刃の種類を確認してください。付属品の軸付砥石（砥石径 4.0 mm）を使用しますので、砥石のサイズがチェン刃に合っているか、また上刃目立ての角度や砥石（本体）保持角度などを確かめてから目立て作業を行なってください。

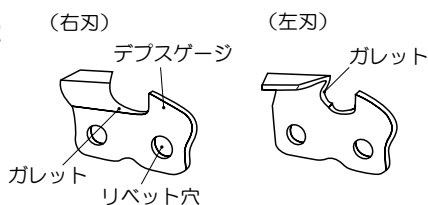
（チェン刃目立て表）

チェン刃 品番	丸ヤスリ 換算サイズ	デブスゲージ 高さ	砥石（本体） 保持角度	上刃目立て 角度	上刃切削 角度
25AP 25F	4.0mm 5/32"	0.65mm 0.025"	10° （斜角）	30°	60°
91S / SG 91VG / VS	4.0mm 5/32"	0.65mm 0.025"	0° （斜角）	30°	60°
91PX	4.0mm 5/32"	0.65mm 0.025"	0° （斜角）	30°	55°

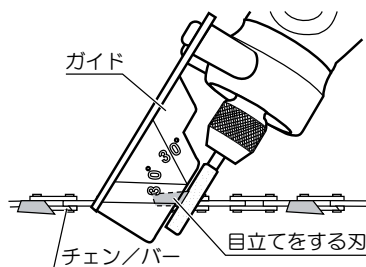
2. 目立て作業

- 目立てをするチェン刃の種類・条件を確認したら、目立て作業を開始します。

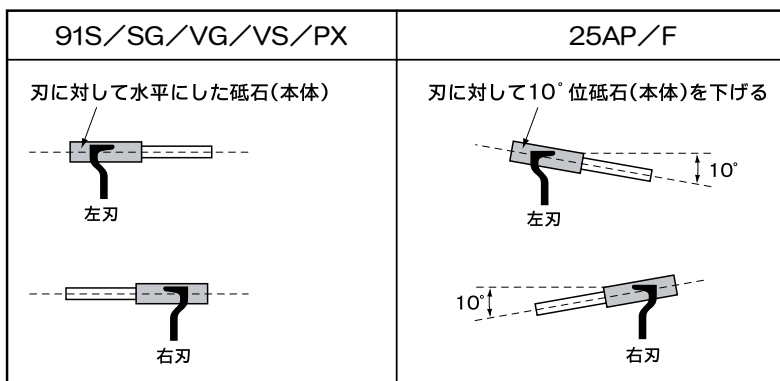
- 軸付砥石を刃先のガレット部にはめこみます。



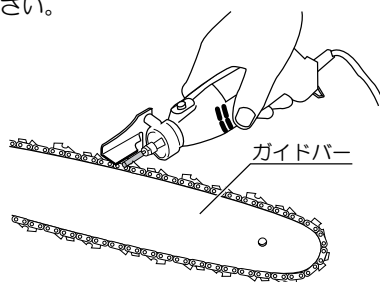
- ガイドを目立てをする刃の上ののせ、ガイドに印された上刃目立て角度（30°）をチェーンソーのガイドバーと平行になるように位置合わせをします。



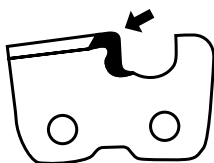
3. チェン刃の切削性能を最高に引出すために、目立てを行なうときはチェン刃の種類を確認し、刃に対する軸付砥石の保持角度を水平（25AP/Fは手前を10°位下げて）に合わせます。



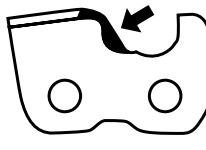
4. 機械のスイッチをONにして、目立てをしてください。



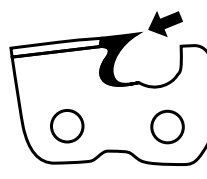
正しい目立てをしたカッタの形状



間違った目立てをしたカッタの形状

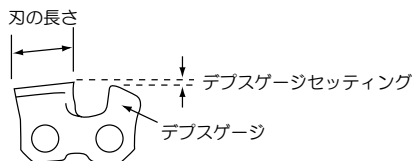


後方に傾きます。



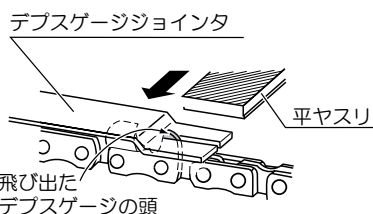
深くきれこみすぎ。

3. デプスゲージの高さ調整



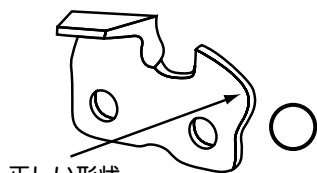
- ・ 切削能力と安全性を維持するために、デプスゲージの高さを正しく調整します。
- ・ デプスゲージの調整には、必ずデプスゲージジョインターと平ヤスリ（いずれも別販売品）を使用してください。

1) チェン刃に合ったデプスゲージジョインターをチェン刃の上にかぶせます。デプスゲージが高すぎる場合には、溝からデプスゲージの頭が出ます。



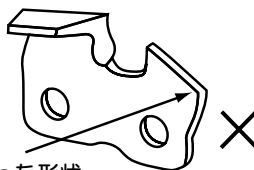
2) 溝から出ている部分を平ヤスリで削り落とし、適切なデプスゲージ高さに調整します。
ヤスリを往復で使用すると、平ヤスリの目が早くつぶれますので、必ず一方方向のみに動かして研磨してください。

3) デプスゲージの先端に丸みをつけるように平ヤスリで整形します。



正しい形状

丸味がある
適切な丸味を持ったデプスゲージになっていないと、チェーンソー使用時にキックバックや思わぬ動きが起き、けがの原因になります。

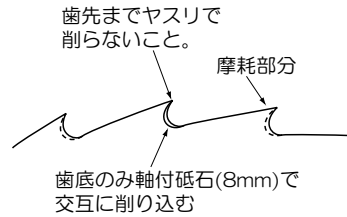
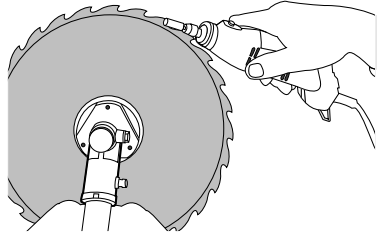


誤った形状

角ばっている
この部分は手作業で平ヤスリをかけ、丸く研磨します。

●刈刃（笹刈刃）の目立て

- ・本体のフロントキャップ（ガイド付）をガイドなしタイプのフロントキャップに取替えます。フロントキャップは左に回してゆるめます。
- ・付属品の刈刃目立て用砥石（砥石径8mm）を本体に取付けます。
- ・砥石を刈刃に対して 25° ～ 30° の角度で当て、歯底の部分だけを交互に削り込みます。（この時、歯先まで削らないでください。）



■保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・使用後は、粉じんなどを取除いたのち軸付砥石を取外して保管してください。
- ・コレットチャック部には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水を付けた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>